

## 市町村長・管理職特別セミナー

(4月26日～27日)

4月26日・27日に、令和4年度第1回「市町村長特別セミナー」及び「管理職特別セミナー」を一般財団法人地域創造との共催により開催しました。新型コロナウイルスの影響により、実に3年ぶりの開催となった本セミナーには、全国各地から計89人の市町村長、管理職等の皆様にご参加いただき、自治体経営、文化・芸術、地域づくり、働き方改革の分野についてご講演いただきました。



岡本 全勝学長

初日は、「令和時代の自治体と公務員」と題して、市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）学長の岡本全勝から、コロナ禍、デジタル化、災害への対応など、目まぐるしく変化する社会経済情勢を踏まえた今後の自治体経営について、自身の官僚時代の経験談を交え講演いたしました。参加者からは、「実体験を基にした話であり、現場にいる者として実感できるもので大変勉強になった」、「東日本大震災への対応、復興へ尽力された具体的な話は大変わかりやすく有効だった」、「地方自治体の状況、職員の悩みなど、よく理解されていて今後の方向など参考になった」などの感想をいただきました。

続いて、「アート地域経営のOSに～ BEPPU PROJECTの活動より」と題して、アーティストでYamaide Art Office株式会社代表取締役の山出淳也氏から、民間の立場からアートを活用した地域活性化について、別府での実践事例とともにご講演いただきました。参加者からは、「アートの力、ポテンシャルがこれほどまでとは思っていなかった」、「アートを入口として地域の課題を解決する取り組みに発展できることを確信した」、「アートというものへの既成概念が変わった」などの感想をいただきました。



山出 淳也氏



ミニコンサート

初日の最後に、一般財団法人地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティストとしてもご活躍になっているフルート奏者の泉真由氏とクラシック・ギター奏者の松田弦氏によるミニコンサートを開催しました。両氏は、楽曲の間に、それぞれの楽器の演奏方法や演奏にまつわる苦労、様々な地域での音楽活動等について語られ、その演奏とともに地域の音楽活動の参考となりました。

2日目は、「人口減少時代の地域づくりと自治体の役割～エンパワーメント支援への変革～」と題して、高崎経済大学地域政策学部教授・大学院地域政策研究科長の櫻井常矢氏から、行政だけでは解決できない課題が山積するなか、住民とともにどのように地域づくりを進めていけばよいか、地域と向き合うその姿勢、基本的な考え方などについてご講演いただきました。参加者からは、「本質をついた素晴らしいセミナーだった。行政側の意識改革の必要性を改めて感じた」、「まさに今の当市の課題。ぜひ職員・市民にも同じ話を聴いてほしいと思った」、「実践に基づいた人づくり、地域づくりの話であり説得力がある」などの感想をいただきました。



櫻井 常矢氏



小室 淑恵氏

最後に、「コロナ禍で加速する働き方改革 生き残る自治体になるには」と題して、株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長の小室淑恵氏から、全国の様々な企業をはじめ、自治体においても「伴走型の支援」により数々の成果を上げてきた取組事例とともに、働き方改革の必要性とその手法についてご講演いただきました。参加者からは、「実績に基づいたたくましい取り組みの発表は説得力、実効性、力強いものがあった」、「すでに取り組んでいる内容もあったもののやり方がこれほどシステムティックで論理的であるか自信がない」、「少子化対策と女性活躍に有効なのは男性の働き方改革という視点を当市でも早速取り入れたい」などの感想をいただきました。